

1st Adaptive Stand-up Tennis Veteran Tournament 第1回障がい者立位テニスベテラン大会

報告書 Report




General Incorporated Foundation
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

2025.1.10

第1回障がい者立位テニスベテラン大会(55歳以上) 実施概要

- 📍 **日 時** 実施日:2024年12月22日(日)
受付開始 9:00~、開会式 9:30~、試合開始 10:00~
- 📍 **場 所** 八王子市松木公園テニスコート
東京都八王子市別所1-56-2
(屋外オムニコート3面 No.A~C 使用)
- 📍 **主 催** 一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会(JASTA)
ベテラン大会実行委員会 
- 📍 **後 援** 八王子市
- 📍 **協 賛** S&D多摩ホールディングス株式会社・ヨネックス株式会社
運動公園指定管理者八王子スポーツパーク
- 📍 **グレード** JASTA 500 point
- 📍 **大会委員長** 柴谷 健(JASTA)
- 📍 **競技委員長** 中川勝就(公益財団法人日本プロテニス協会)

- 📍 **参加資格** 身体障害者手帳を保有する肢体障がい者で2024年内に55歳以上となる方
(四肢のいずれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形)
- 📍 **ク ラ ス** PST-1・PST-3・PST-5(その他のクラスはエントリーがなかったため実施せず)
- 📍 **出場者数** PST-1 = 2名・PST-3 = 8名(うち1名当日キャンセル)・PST-5 = 2名
- 📍 **参 加 費** 5,000円(一般)・3,000円(JASTA PLAYERS CLUB会員)
- 📍 **競技種目** シングルス
- 📍 **審判方法** セルフジャッジ
- 📍 **競技方法** PST-1 = ラウンドロビン方式、PST-3 = トーナメント方式
JTA テニスルール・PST-3は2バウンド返球
PST-5 = ラウンドロビン方式
規定のコートサイズ、オレンジボール使用、2バウンド返球
それ以外はJTA テニスルールに準じる
- 📍 **使 用 球** PST-1・PST-3 = ヨネックス ツアープラチナム
PST-5 = ヨネックス マッスルパワーボール30(オレンジボール)
- 📍 **表 彰** PST-1・PST-5 = 優勝のみ PST-3 = 優勝・準優勝
- 📍 **来場者数** 約40名

開催へのご支援お礼

この大会を大きな事故もなく無事に終わられました事をご報告し、ご支援頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

今大会では八王子市のご後援を賜り、ご協賛も1社からGold協賛を、2社から物品等の協賛を頂きました。初めて弊協会主催大会にご協賛いただいたS&D多摩ホールディングス株式会社より1名のご担当者様も視察にお越しくださいました。協力を名乗り出てくださいました運営スタッフの皆様には、朝早くから設営撤収やボールパーソン、交流イベントの運営をお手伝い頂けてとても助かりました。

一般のテニスでは5歳刻みにの年齢別大会が行われていますが、弊協会ではこれまで肢体不自由者で障がい者認定を受けていれば参加資格に年齢は問わないオープン大会のみを開催してきました。これは若い世代選手に優位に働くことは否めません。そこで年齢を重ねても挑戦できる場を欲している熟年世代の選手に対し、思う存分輝く機会を創出したという思いから今大会を企画しました。55歳以上のみが参加できるベテラン大会は、選手への応援を込めて大会愛称を「gogo cup」とし、皆様に長く愛される大会へ育てて行きたいと考えています。

弊協会に登録をしている選手の7割が後天的障がい者です。人生の途中で病気や事故により障がいを持つようになった人が多いのです。人生に大きな方向転換を余儀なくされても全てを諦める必要はありません。そのメッセージをお伝えたく、私も今大会に選手として出場させていただきました。

弊協会は、この競技をパラリンピック種目入りやプロ化も目指せる夢のある競技に育てると共に、「Tennis for all」の実現のため望む人全てがテニスにアクセスできるよう地道に活動を続け、国内での競技の普及発展に努めて参ります。今後も立位テニスにご期待ください。

第1回障がい者立位テニスベテラン大会
大会委員長

柴谷 健 Ken SHIBATANI



今大会にご協力頂いた皆さま

<大会運営スタッフ> 敬称略、50音順

大会本部

JASTA PARTNERS CLUB：坂倉陽子・中川勝就

大会ドクター

JASTA PLAYERS CLUB：太田詔（出場選手兼務）

大会記録

（スチールカメラ）JASTA PARTNERS CLUB：雨宮郁夫・JASTA PLAYERS CLUB：吉本直記

（動画）JASTA PARTNERS CLUB：雨宮郁夫・庄内久美

ボールパーソン・受付・運営

JASTA PARTNERS CLUB：雨宮郁夫・宇野典子・庄内久美・原田聖也

一般：五十嵐佳代・佐藤隆・原ひより・原不二雄・結城淑子

心よりご協力に感謝申し上げます。

会場アクセス

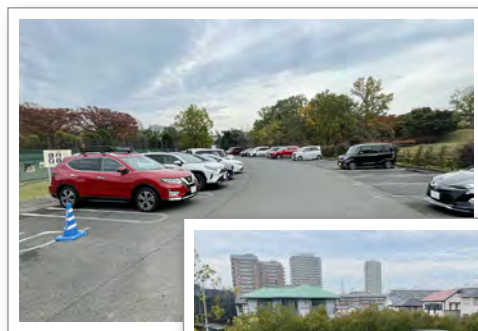
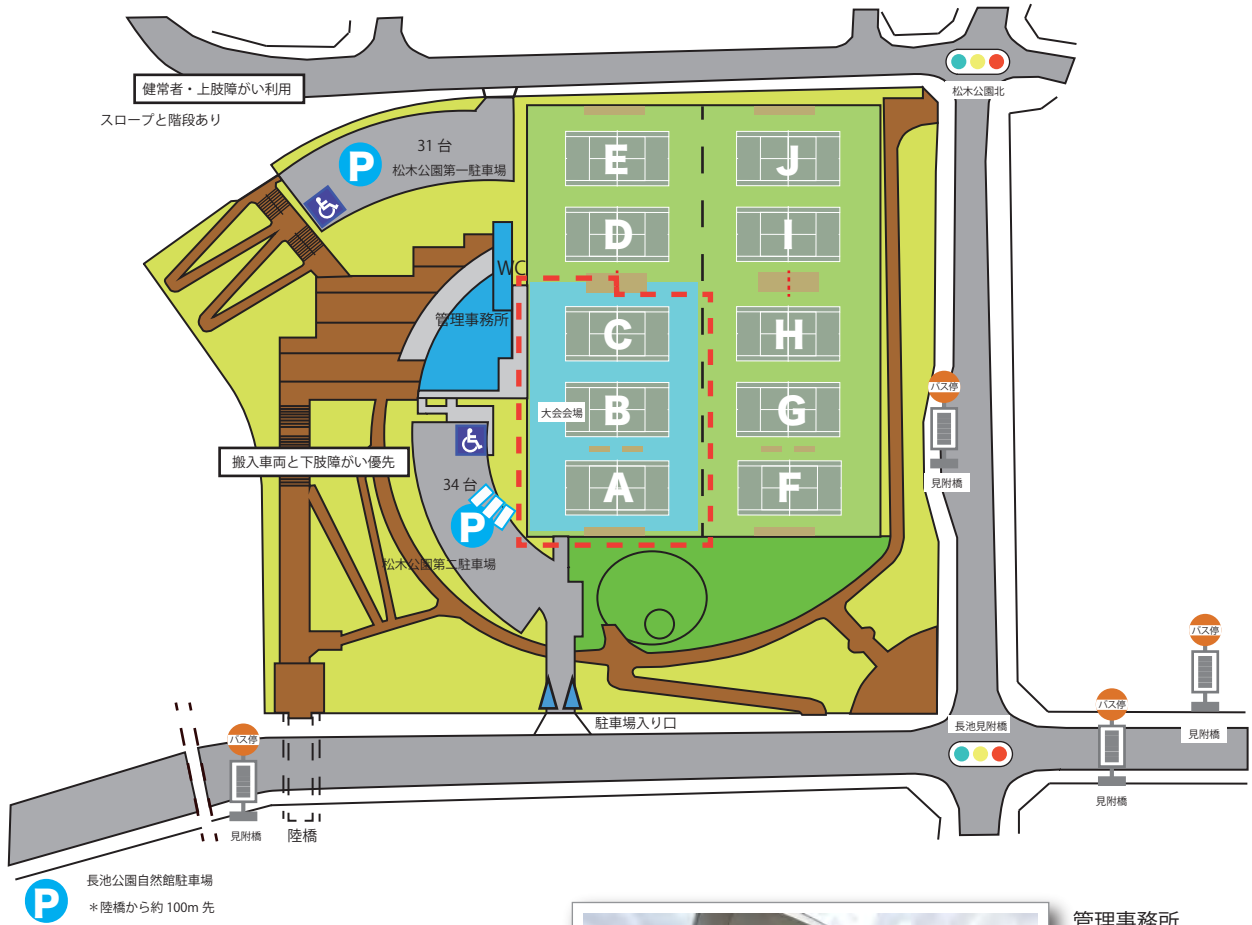
<八王子市 松木公園テニスコート>

● 電車

京王相模原線京王堀之内駅から京王バスまたは神奈川中央交通「見附橋循環」で見附橋下車

● 車

第1または第2駐車場（無料）



第二駐車場



第一駐車場



管理事務所



コート

スケジュール

- 2023年10月下旬 ● 計画スタート
 - ・中川勝就さまに松木公園へ大会計画と候補日を提案して頂く
- 2024年4月上旬 ● 日程と会場が確定
- 2024年9月26日 ● 大会実行委員会会議で大会方針を検討
- 2024年10月31日 ● 大会実行委員会会議で要項、ドロー数による競技方法を検討
 - ・予算書・大会要項を策定
 - ・協賛金、商品協賛、パンフレット広告協賛の募集開始
 - ・関係各所に大会概要を通知し、情報拡散協力を依頼、スタッフ募集開始
- 2024年11月4日 ● 大会専用 Web ページ立上げ、出場申し込み受付開始
 - ・大会要項リリース、各 SNS で大会告知
 - ・協賛募集開始
 - ・キービジュアル作成
- 2024年11月5日 ● 物品協賛決まり始める
- 2024年11月8日 ● 八王子市へ後援申請
- 2024年11月15日 ● 八王子スポーツパーク担当者さまと打ち合わせ
 - ・コート使用料、オレンジボールの協賛決定
- 2024年11月16日 ● 大会告知印刷物を発注
 - ・各所に大会告知協力を依頼、ポスターとチラシを発送
- 2024年11月22日 ● 大会当日の傷病受け入れを都立多摩南部地域病院に依頼
- 2024年11月30日 ● 出場申し込み締め切り
 - ・ドロー会議
- 2024年12月初旬 ● 制作物発注・ドロー発表
 - ・プログラム印刷入稿
 - ・大会バナーと表彰用品発注、運営用品購入
 - ・当日配布資料・サイン作成・保険加入・お弁当予約、運営 web ミーティング
- 2024年12月14日 ● 搬入物仕分け・積み込み
- 2024年12月15日 ● 協賛品、表彰用品受領
 - ・配布・掲示用資料出力・大会用品検品、当日案内を関係者にメール
- 2024年12月22日 ● 大会当日
- 2024年12月24日 ● 大会パンフレットを協賛各社へ送付して終了報告
- 2024年12月29日 ● リザルト公開
 - ・出場選手の JASTA ポイントを反映したベテランランキングをリリース
 - ・報告書・収支報告書作成開始
- 2025年1月10日 ● 大会報告書作成
 - ・印刷へ回し、完成後に関係各所に郵送予定

ドロー・結果 PST-1・PST-5

プレゼンター：柴谷健（ベテラン大会委員長）

Photo by JASTA



PST-1 優勝 千葉正弘選手（神奈川県）

Photo by JASTA



PST-5 優勝 青木祐成選手（東京都）

PST-1 と Pst-5 はそれぞれ同じクラスに 2 名の選手が出場したため、3 セットマッチで試合を行い優勝者のみを表彰いたしました。

試合：3セットマッチ（スーパータイブレーク）

第1セット（6 ゲーム先取ノード）終了後、インターバル

第2セット（6 ゲーム先取ノード）・第3セット（10 ポイントタイブレーク）

※

※ 2 ポイント以上離して先に 10 ポイント取った方が勝ち。9-9 となった場合は先に 2 ポイント差をつけた方が勝ち。

PST-1 Draw & Results

JASTA point		第1セット	第2セット	第3セット	セットカウント	順位
300	佐藤聡一郎 Soichiro SATO	0	4		0 — 2	2
500	千葉正弘 Masahiro CHIBA	6	6		2 — 0	1

神経引抜き 上肢切断・欠損

<障がい別割合>

PST-5 Draw & Results

JASTA point		第1セット	第2セット	第3セット	セットカウント	順位
500	青木祐成 Yusei AOKI	2	6	10	2 — 0	1
300	太田 詔 Sho OHTA	6	5	5	0 — 2	2

四肢麻痺 両下肢障がい

<障がい別割合>

ドロー・結果 PST-3

プレゼンター：柴谷健（ベテラン大会委員長）

Photo by JASTA



優勝 岸俊介選手（神奈川県）

Photo by JASTA



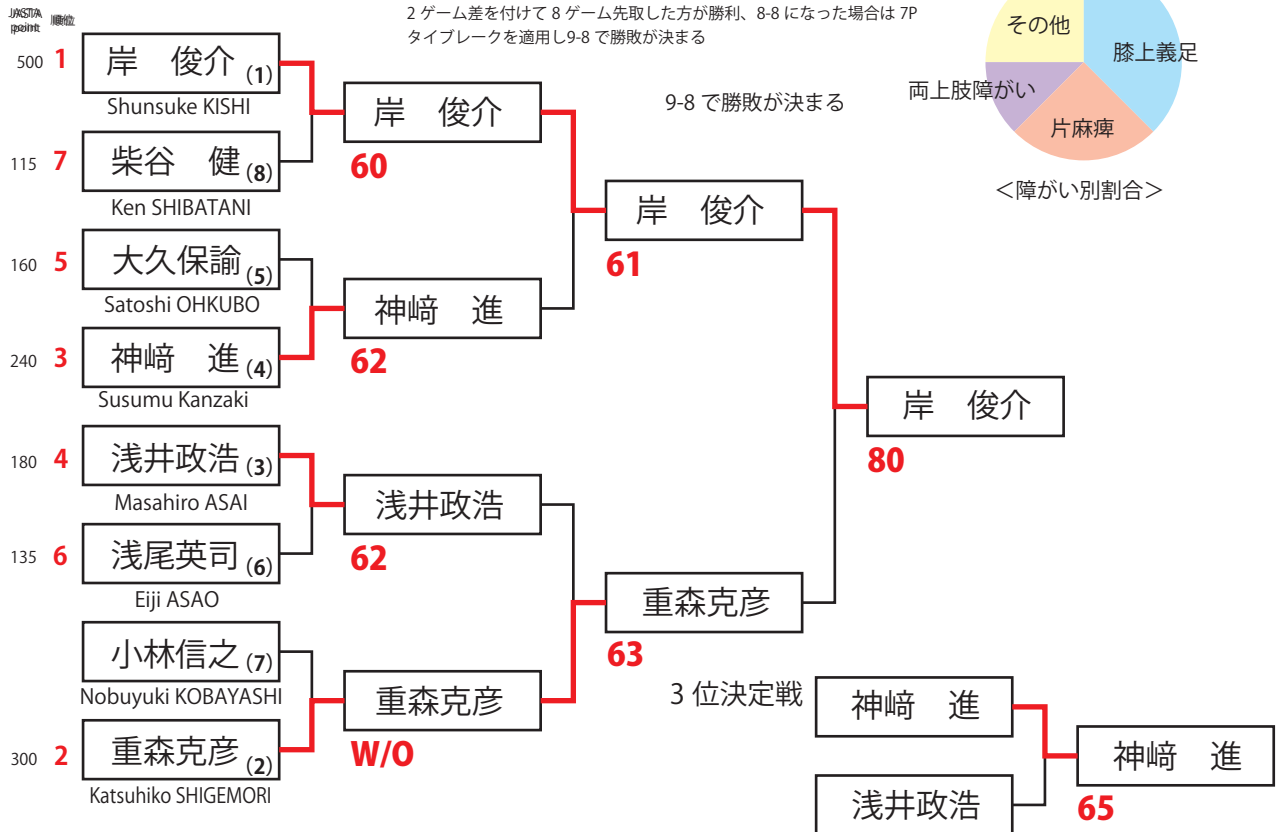
準優勝 重森克彦選手（東京都）

PST-3 Main Draw

本戦・3位決定戦：ノードバンテージ6ゲーム先取

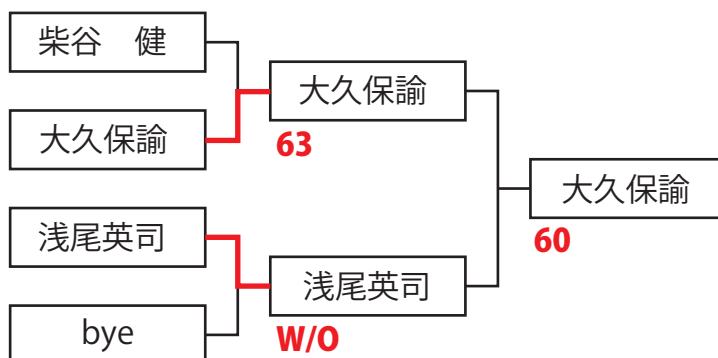
本戦決勝：8プロセットマッチ（デュースあり）

2ゲーム差を付けて8ゲーム先取した方が勝利、8-8になった場合は7P
タイブレークを適用し9-8で勝敗が決まる



PST-3 Consolation Draw

全試合：ノードバンテージ6ゲーム先取



※名前の後に数字が記してあるのはシード順です
JASTA RANKINGの順位をもとに決定しています

Photo Gallery

Photo by JASTA & Naoki Yoshimoto & Ikuo Amemiya



バナーの後ろに遮光ネットを貼って奥のコートの方に配慮



大会バナーと協賛バナーの設置



ボールが転がらないよう No.C~D コートの間にジュニアネットを設置



オーダーオブプレイ準備



本部設営



選手受付



選手待機所の設置



運営協力、ボールパーソンの皆様

Photo Gallery

Photo by JASTA & Naoki Yoshimoto & Ikuo Amemiya



PST-3 同じ左大腿切断同士の久大保選手と柴谷選手



PST-3 お互いに練習量の多さを讃え合う岸選手と神崎選手



PST-5 ドラマティックな試合を披露した青木選手と太田選手



撤収は選手も含めて全員で協力

交流イベントの実施

全試合終了後に 30 分間、どなたでも参加できる事前申込み不要で参加費無料の交流イベントとしてストラックアウトを行いました。他のコートの一般利用者の皆様にお声掛けし、1人12球で9枚のパネルのうち何枚打ち抜けるかを楽しく頂きました。好成績者には景品もご用意しました。出場選手との交流を通じて競技の存在や大会の意義をお伝えできたと思います。弊協会では障がい理解と競技の認知度向上のため、このような交流イベントを併催しています。



全試合終了後に交流イベントを実施



競技委員長の中川勝就様より総評をいただく



表彰用品と副賞

Photo Gallery

Photo by JASTA & Naoki Yoshimoto & Ikuo Amemiya



<PST-1>佐藤聡一郎選手・右腕神経叢引き抜き損傷



<PST-3>浅尾英司選手・右大腿切断



<PST-3>浅井政浩選手・左片麻痺



<PST-3>大久保諷選手・左大腿切断



<PST-3>神崎進選手・四肢関節拘縮症



<PST-3>柴谷健選手・左大腿切断



<PST-5>太田詔選手・両下肢機能障害

収入の部

項目	金額(円)	内容
参加費	36,000	3,000円/1人、12名(当日キャンセル1名分含む)
特別協賛金 (Gold)	200,000	1社様より (S&D多摩ホールディングス株式会社)
広告協賛金	0	
寄付	0	
協会負担金	0	
収入合計	236,000	

支出の部

項目	金額(円)	内容
会場使用料	0	(八王子スポーツパーク様協賛)
大会使用球費 (イエロー)	0	(コネックス様協賛)
(オレンジ)	0	(八王子スポーツパーク様協賛)
印刷費 (※)	24,350	A4 チラシ 300枚、A2 ポスター 30枚、A4 パンフレット 80部 A4 報告書 80部
デザイン版下作成費	30,000	R-WORKS
会場装飾費	32,234	大会バナー、協賛バナー、協賛バックボード作成
配布資料制作費	3,000	対戦表、トーナメント表
会場装飾備品費	4,356	遮光ネット
オレンジコート作成備品費	1,575	50mm 巾マスキングテープ
事務用品費	5,750	名札ケース
表彰用品費	20,318	優勝カップ 3点、準優勝盾 1点
参加賞費	0	大正製薬リボビタン Sports (サンプル)
送料・通信費	5,740	チラシ、ポスター、資料の発送費
衛生・救護用品費	0	既存流用
会議費	1,860	会議室利用料、喫茶代
選手・運営スタッフ昼食費	11,528	お弁当+水
運営スタッフ謝金費	19,000	3,000円×3名、5,000円×2名
旅費交通費	1,280	高速料金、ガソリン代
イベント保険費	1,094	50名(選手、スタッフ、イベント参加者) 想定
大会本部経費	40,000	競技委員長、大会メディカル経費
大会記録費	0	スチールカメラマン 1名
マニュアル・資料作成費	30,000	space design studio arc
雑費	2,210	駐車場代、振込手数料
支出合計	234,295	

収入合計 236,000円 - 支出合計 234,295円 = 1,705円

※ 1 余剰金は協賛各社さまとの取り決めにより弊協会活動費に算入します。

The 1st Champions & Runners 第1回チャンピオンと準優勝者

Photo by JASTA & Naoki Yoshimoto & Ikuo Amemiya



PST-1 優勝 右前腕切断の千葉正弘選手（神奈川県）



PST-3 優勝 左大腿義足の岸 俊介選手（神奈川県）



PST-5 優勝 頸髄損傷による四肢麻痺の青木祐成選手（東京都）



PST-3 準優勝 右片麻痺の重森克彦選手（東京都）



入賞者集合写真（JASTA マスコットのティラノザウルスがお祝い）

Para Standing Tennis



障がい者立位テニスベテラン大会（55歳以上）ロゴマーク

年齢の「55」を意気込みと応援を表す「go go」と掛けて、大会愛称を「gogo cup」にしました。

ロゴマークは「55」とテニスボールをモチーフに見た目にもカラフルで楽しいデザインとしました。